

こんにちは

酒井まさえ



2023年12月10日 No.159 連絡先 日本共産党杉並区議団控室 3312-2111
090-9325-5676 sakaimasae.0507@gmail.com

後期高齢者の医療費窓口負担

2割化による受診控えが明らかに

後期高齢者医療広域連合議会とは

75歳以上の高齢者が加入する後期高齢者医療の予算を定めたり、条例の制定・改廃等を審議・決定する機関。東京都の広域連合議会の議員は62区市町村議会から選ばれた議員31人で構成。任期は2年。2023・24年度の日本共産党の議員は、くすやま区議と多摩市の小林憲一市議の2人。

◆東京全体の後期高齢者 窓口負担別の人数と割合(2022年度末時点)

1割負担	105万6124人	62.9%
2割負担	38万3593人	22.8%
3割負担	23万9777人	14.3%

◆2022年度の保険料滞納者数

3万1189人(前年度比5547人、21.6%の増加)

一人当たり平均保険料額(案)

特別対策あり算定案

2022・2023年度	104,842円
2024・2025年度	113,774円
増減	8,932円
増減率	8.5%

11月24日、東京都後期高齢者広域医療連合議会が開かれ、くすやま区議が2022年度の決算認定について質疑と討論を行いました。

2割負担の影響で受診日数は減少、医療費は38億円削減

2022年度は、保険料の引き上げに加え、10月から一定の所得のある高齢者の窓口負担が1割から2割に引き上げられました。

質疑で、東京全体では1割負担だった被保険者のうち、26.4%の人が2割負担になったこと、さらに、2割負担化前と後の受診日数の比較では、2割負担の人の受診日数は、1割負担の人に比べ0.13日少ない結果となったことがわかりました。2割負担導入が受診抑制につながったことは

明らかです。

また、2割負担の人が仮に1割負担だった場合との比較では、約38億円の医療給付費の削減となったことも示されました。

元の1割負担に戻せ

くすやま区議は、「区民からは「これまで月に1回通院していたが2か月に1回にした」「在宅医療は自己負担が高いので往診の回数を減らした」などの声を聴いている。高齢者が経済的な理由で必要な医療を控えている事態をどう認識しているのか」と質問。

広域連合の担当課長は、「大きな受診控えにつながっているとは思っていない」との認識を示しましたが、「引き続き、調査を行っていきたい」と答えました。

(次ページへ)



討論では「高齢者の多くは定期的な受診が必要な病気を抱えている。年金の引き下げや物価高騰がくらしを直撃しており、元の1割負担に戻すこと、来年度の保険料についても引き上げるべきではない」と意見を述べ、決算認定に反対しました。

来年度も保険料大幅値上げ!

後期高齢者医療保険料は、2年ごとに見直しされていますが、毎回値上げが続いています。

2024・25年度の保険料については、来年1月の広域連合議会に正式に提案されますが、すでに示された保険料案は、一人当たり8932円の大幅値上げとなるものです。「値上げやめよ」の世論を広げましょう。



第4回定例会の一般質問で放課後等テイサービスについて質問しました。

放課後等テイサービスは、小中・高校就学中の障害児に対して、放課後や夏休み等の長期休業中に、生活能力の向上のための訓練等を継続的に提供し、障害児の成長を支援するとともに、放課後等の居場所づくりを行う事業です。また、仕事をしている保護者への支援にもなっています。現在、区内には24カ所の事業所がありますが、他区と比べると少ない現状です。(学童クラブと併用もしている)

保護者からは、「通所の日数を増やしてほしい」「障害の状態ですら学童クラブには行けない。5日にしてほしい」などの声が寄せられ、事業所職員からは、「待機者がいつも30人~40人います」と声が寄せられています。

私は、これまでも再三にわたりも放課後等テイサービスの事業所を増やすことを求めてきました。岸本区政のもと、実行計画(案)の中で、「区内の事業所が不足しているため新規開設を促進するとともに、事業所が事業継続できるよう運営を支援します」と明記されたことは重要で、区に具体的な支援の内容を問いました。

区は、「重症心身障害児を対象にした施設では、従来の人件費の補助に加え新たに賃借料の補助を行う。また、主に知的障害者を対象としている、国の人員基準以上に職員を配置し手厚い支援を行っているところへは、運営費の補助を行い、開設促進と安定した事業継続への支援をする」と答弁しました。

健康の話 みかんのパワー

冬の果物といえばみかんがあります。

こたつに入って、みかんを食べると、気分も落ち着きほっとします。

みかんは、ビタミンCが豊富で、風邪予防にも良いといわれています。他にどのような効果があるか、あげてみます。

① ダイエット効果

みかんには、ヘスペリジンという成分が含まれており、中性脂肪の増加を防ぐ効果があります。また、食物繊維も多く含まれるため便秘にも良いです。カロリーも低めで、Mサイズのみかんは約34カロリーにしかありません。

② 疲れを回復

酸味のもととなるクエン酸は、疲労を素早く回復する効果もあります。

③ 肌のうるおいをキープ

みかんには、ビタミンAも含まれ、鼻や喉などの粘膜の働きを整えるほか、肌のうるおいを保つ効果もあります。冬の乾燥肌予防にも役立ちますね。

その他、皮を干して乾燥させ、お風呂に入れば入浴剤にもなります。血行促進やリラックス効果もあります。

みかんを食べて、寒い冬を乗り切りましょう。

お困りのことがありましたら

酒井にご連絡ください。

